

開催結果報告書

第6回 XR・メタバース総合展 夏

XR×AI **空間コンピューティング** **デジタルツイン** **イマーシブ** などが一堂に出展！

【会 期】 2026年6月17日（水）～19日（金）
10:00～17:00

【会 場】 東京ビッグサイト（西展示棟）
【同時開催】 第19回 コンテンツ東京

【主 催】 RX Japan合同会社



目次

1. 開催概要	p.03
2. 会場の様子	p.04
3. 来場者について	p.05～p.08
● 来場者数	
● 来場者属性	
● 来場者の声	
4. 来場者動員活動	p.09～ p.15
● セミナー概要	
● 特別講演	
● 特別企画 (∞mugen)	
● 広報・PR	
5. 来場者向けサービス	p.16～p.17
● サービスカウンター	
● 展示会ナビ	
6. 出展社について	p.18～ p.19
● 出展企業一覧	
● 出展社の声	
7. 次回開催のご案内	p.20～p.21



1. 開催概要

本展は、XR（VR・AR・MR技術の総称）およびメタバースを活用するサービス・技術が一堂に出展する日本最大級の専門展として開催。XRとメタバースの技術やサービスを活用するヒントを求める来場者に、出展企業のご紹介やセミナー、イベントの開催を通じて価値を提供しました。

展示会名 第6回 XR・メタバース総合展【夏】

会 期 2026年6月17日（水）～19日（金） 10:00～17:00

会 場 東京ビッグサイト（西展示棟）

主 催 RX Japan合同会社

同時開催 第19回 コンテンツ東京



2. 会場の様子

XRやメタバース活用のヒントを求める来場者を迎え、会場は活気に溢れました。先進的な活用事例を紹介するセミナーをはじめ、最新デバイスの体験が体験できる「∞mugen」など、新しい企画も盛り上がりしました。



3. 来場者について

3-1. 来場者数

6月17日（水）	6月18日（木）	6月19日（金）	3日間合計
9,735名	10,077名	11,663名	31,475名

2026年6月22日(月) 発表

※同時開催展を含む

※1人の来場者が、同日に複数回来場した場合は1名と集計

※1人の来場者が、複数日来場した場合は、その日数分を集計（例：1人が2日間来場した場合は、2名と集計）

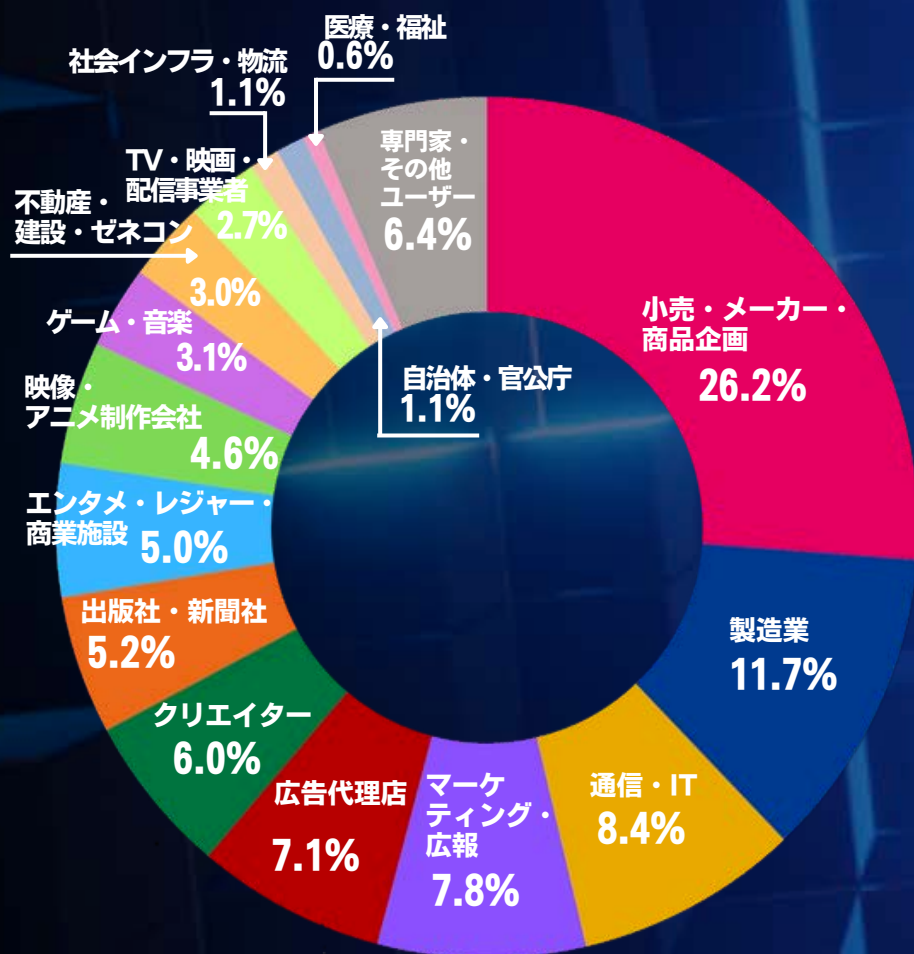
※上記には、出展者・報道関係者は含みません



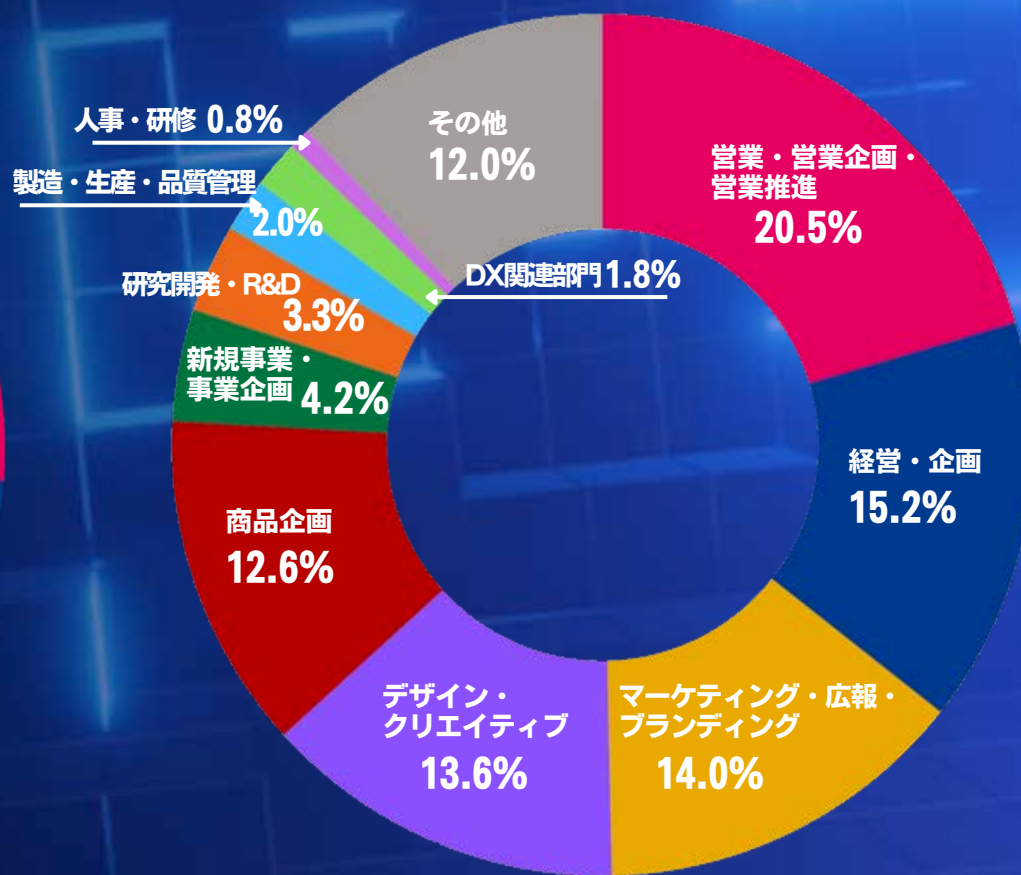
3. 来場者について

3-2. 来場者属性

業 種

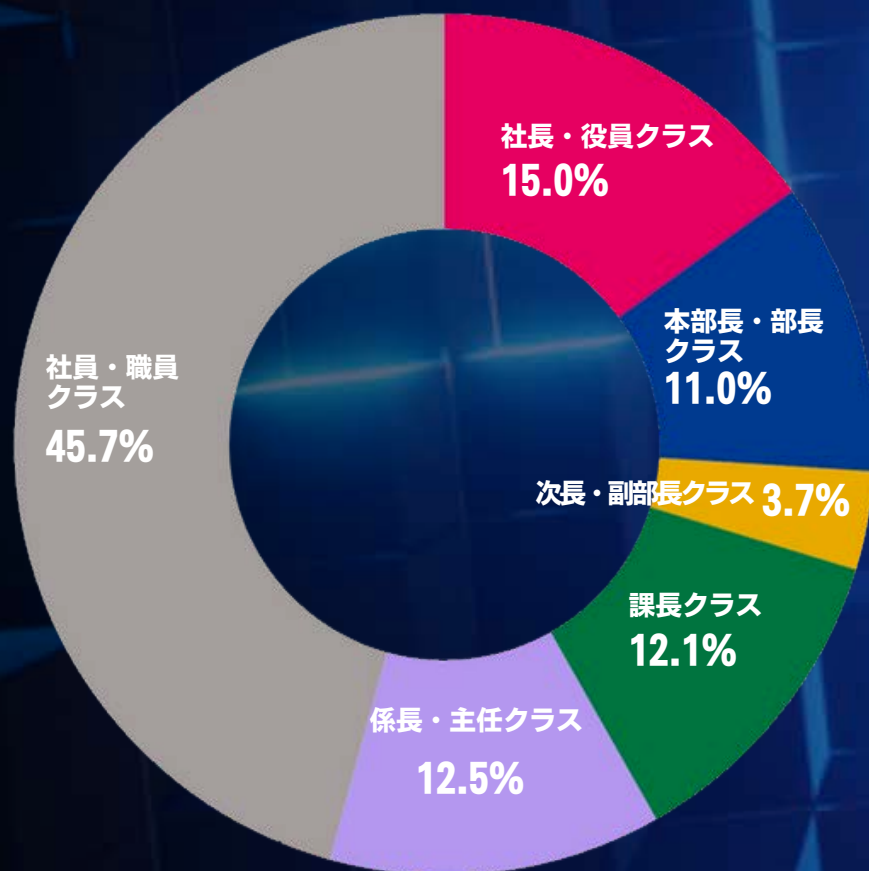


職 種

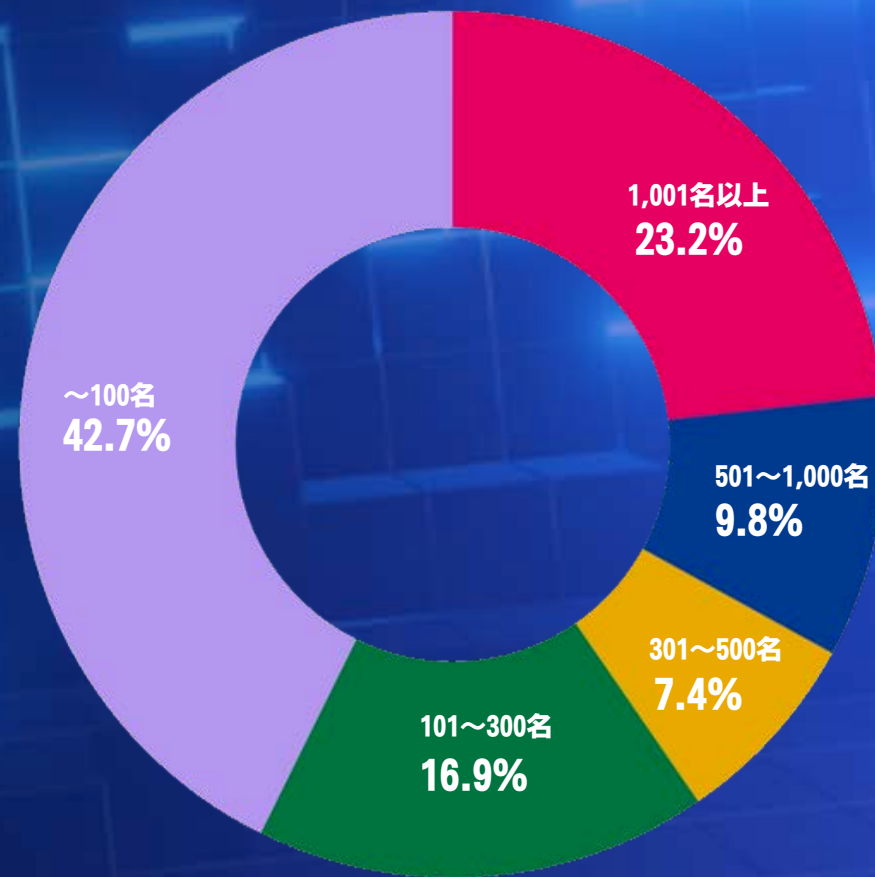


3. 来場者について

役職

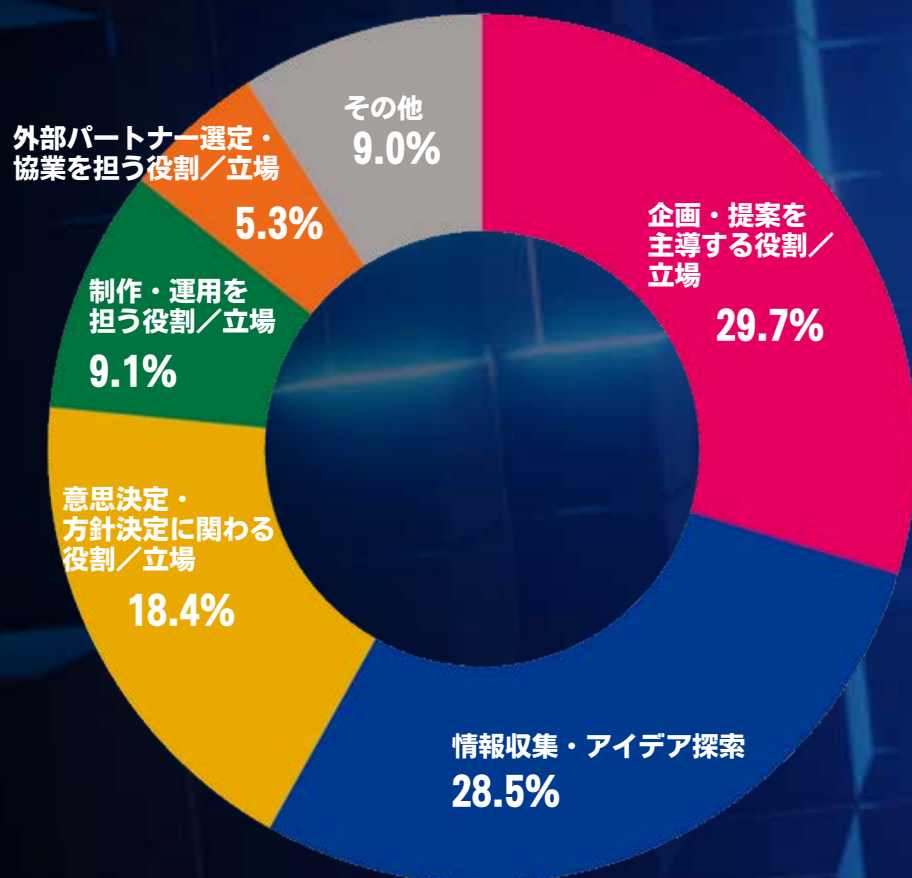


従業員規模



3. 来場者について

導入・活用における関わり方



3-3. 来場者の声（一部抜粋）

XR・メタバース総合展は、実演も多く、最新のVR機材やXRなど、自分の想像以上の機能を活かしたサービスを見ることができました。

XRコンテンツを作っていくにあたって、業界がどのような流れで進んでいるのかを把握できるため来場している。

技術やガジェットが多く、XR関連の開発や案件依頼に前向きな人にはおすすめしたい。

XRなど技術やソリューションを一堂に見ることができ、最新情報や他社活用状況が確認できる。

XRやメタバースの最新トレンドを把握する絶好の機会でした。ビジネスに役立つ多くの洞察や業界での活用事例を得ることができました。

※来場者属性については、2026年6月22日(月) 時点のもの。同時開催展を含みます。

※来場者アンケートより

3. 来場者について

特別講演、オープンセミナー、特別企画などを開催し、来場者誘致と会場内での回遊を促進しました。
多くの方にご参加いただきました。

4-1. セミナー概要

聴講者数

4,123名

総セッション数

38セッション／3日間

※聴講者数・セッション数は、同時開催含む。オープンセミナーは含みません。

聴講者からの声（一部抜粋）

XRからデータを取り出して使うという取り組みが、新たな視点で面白かったです。

技能伝承や、日々の業務改善につながる活用事例をいろいろ聴けて、大変興味深い内容でした。

XRのリアルというテーマについて、社会でうまくいかない人に対して寄り添い居場所を提供するというスタンスが温かく感じられた。

現場の声が良くわかった。解決済み（成功事）のみを取り上げるのではない、事例への踏み込んだ内容もあったので満足。

※セミナーアンケートより

4. 来場者動員活動

4-2. 特別講演

※順不同、敬称略／肩書は登壇当時のもの。

【XM-1】 AI×ロボティクスで進化する産業XR最前線

インダストリアルXRの未来 — XR×AI×ロボティクスが切り拓くフィジカルAI時代 —



東京大学
特任補佐・先端科学技術研究センター
副所長／教授
稲見 昌彦



エヌビディア（同）
エンタープライズ事業担当
バイスプレジデント
井崎 武士



H2L Inc. CEO／
慶應義塾大学大学院SDM研究科 教授／
琉球大学 工学部
知能情報コース客員教授／東京大学
大学院工学系研究科 客員教授
玉城 絵美



東京大学生産技術研究所
特任教授
三宅 陽一郎



【進行役】
（一社）Metaverse Japan
共同代表理事／XinobiAI（株）CEO／
（一社）Generative AI Japan 理事
馬淵 邦美



【XM-2】現場のリアルから学ぶXR実装の成功ポイント

失敗で終わらせないXR導入実践論 — 社会実装・教育活用・事業化のリアルから学ぶ —



(株) メタアースヒーローズ
代表取締役／
(一社) The Global Resilience Summit
共同代表理事
木村 麻子



(株) HIKKY
取締役COO／COO
さわえ みか



(株) ゆずプラス
代表取締役
水瀬 ゆず



東京大学大学院 情報学環 特任准教授／
麗澤大学EdTech研究センター センター長・
教授／
(株) HYPER CUBE 取締役CTO
小塩 篤史



【進行役】
(一社) Metaverse Japan
共同代表理事／Xinobi AI (株) CEO／
(一社) Generative AI Japan 理事
馬淵 邦美

【XM-3】AIエージェント・フィジカルAIで広がるXR活用事例

XR × AIエージェント・フィジカルAIで進化する技術伝承と人材育成 — 現場DX時代の技能継承・教育設計・組織変革 —



(株) 日立製作所
研究開発グループ
先端AIイノベーションセンタ
ビジョンインテリジェンス
研究部 リーダ主任研究員
秋山 高行



日本マイクロソフト (株)
マイクロソフト イノベーション ハブ
シニアソリューション エンジニア
鈴木 敦史



川崎重工業 (株)
技術開発本部 システム技術開発センター
システム基盤技術開発部 特別主席研究員
志子田 繁一



【進行役】
法政大学 デザイン工学部システムデザイン学科 准教授／
(株) d-strategy, inc, Third Ecosystem, inc 代表取締役
小宮 昌人

4. 来場者動員活動

4-3. 特別企画 ∞mugen



新たな試みとして、特別企画「∞ mugen」を初開催いたしました。“デバイス体験×情報発信”をテーマに、グローバル展開する主要XRデバイスメーカーの最新のヘッドマウントディスプレイ・スマートグラス・AIグラスが一堂に会し、来場者が実機を直接体験・比較・検討できる場を提供いたしました。また、会場内でオープンセミナーを実施。情報発信・交流の場となりました。

◆ 主要XRデバイスメーカー 8社が一堂に集結



◆ 体験エリア 会期中のみ予約制（無料）で実施。連日、全時間帯が埋まる盛況ぶりでした。



4. 来場者動員活動



◆ セミナーステージ（オープンセミナー）

●SiemensとSonyで実現! 没入型設計ソリューション Immersive Engineering

シーメンス（株）ポートフォリオ開発本部 設計ソリューション部 多胡 要佑

●AI時代の感官革命 — 空間を、知能で塗り替える。

●XREALの哲学と軌跡：なぜ我々はARにこだわり、世界のトップランナーであり続けるのか

XREAL（株）XREAL JAPAN 製品戦略 エコシステム統括 高 天夫（コウ テンフ）

●AIグラス「VIVE Eagle」の日本市場導入戦略

— 実用性・安心感・体験接点から考える新しいウェアラブル市場の拓き方

HTC NIPPON（株）Head of Sales & Marketing JP 山下 賢治

●AIグラスの向こう側にある未来

Even Realities 営業部 日本市場担当 Kevin Yue

●製造業XRの社会実装はどこまで来たのか — MREAL導入で得た実践知と、市場を広げる次の一手 —

キヤノン（株）イメージング事業本部 課長 安東 武利

●産業DXやイベント集客で活躍する「MiRZA®(ミルザ)」。ビジネスを次のステージへ。

（株）NTTコノキューデバイス 商品企画部 担当課長 吉澤 光喜

●ソーシャルVRユーザーの実態と、彼らのためのVRデバイスたち

（株）Shiftall 代表取締役CEO 岩佐 琢磨

●XRグラス「MiRZA® (ミルザ)」で製造業DX ～現場導入の実例とソリューション開発の全貌～

（株）NTTコノキューデバイス 商品企画部 木村 佐恵／

（株）Quark Co-Founder & CEO 風間 健人



※順不同、敬称略／肩書は登壇当時のもの。

4. 来場者動員活動

4-4. 広報・PR

本展示会について広報・PR活動を行い、本展の認知度を高めました。

◆ プレスリリース (一部抜粋)

新世代XRデバイスの登場で、XRは「真鍮」のフェーズへ。HTC NIPPON、XREAL、Shiftallが参画。世界のXRデバイスメーカーが集う特別企画「∞ mugen」！

【第6回 XR・メタバース総合展 第1回】 会期：2026年6月17日～19日 / 会場：東京ビッグサイト
RX Japan合同会社 2026年3月14日 14時00分



2026年6月17日（水）～19日（金） 東京ビッグサイト

RX Japan合同会社（本社：東京都中央区、代表執行役員社長：田中 佑志）が主催する「XR・メタバース総合展」（会期：2026年6月17日～19日 / 会場：東京ビッグサイト）にて開催する特別企画エリア「∞ mugen（ムゲン）」において、HTC NIPPON、XREAL、Shiftallの参画が決定しました。

「XR・メタバース総合展」は、XR（VR・AR・MR技術の総称）およびメタバースを活用したサービス・技術が一堂に集結する日本最大級の専門展です。第一弾と第二弾参画企業（HTC NIPPON、XREAL、Shiftall）に加えて、今回の第三弾参画企業により、キープレイヤーの顔ぶれが揃い、会期に合わせたラインナップが完成形へと近づいています。

■ XRを「特別」から「日常」へ

XRは、製造、建設、教育、エンターテインメントなどさまざまな分野で活用が進む一方で、社会全体への浸透は遅れています。本展では生成AIを活用したXR体験やメタバースによるコミュニケーション、VR防犯訓練、空間コンピューティング対応のARグラス、デジタルサインなど、XRの最新技術が一堂に集結します。また、今回は国内外のXRデバイスメーカーが集まる「体験・情報発信エリア（∞ mugen）」を初開催。従来のエンタメ用途から一歩進み、ビジネス現場や日常に寄り添うツールとして、実証・普及の入り口となるXRのリアルな活用を体験できる展示も、1日間にわたって大規模に開催します。

世界のXRデバイスメーカーが集う特別企画「∞ mugen」参画企業第二弾として、NTTコンキューデバイス、Even Realities、PICOの参画が決定！

【第6回 XR・メタバース総合展 第1回】 会期：2026年6月17日～19日 / 会場：東京ビッグサイト
RX Japan合同会社 2026年3月14日 14時00分



2026年6月17日（水）～19日（金） 東京ビッグサイト

RX Japan合同会社（本社：東京都中央区、代表執行役員社長：田中 佑志）が主催する「XR・メタバース総合展」（会期：2026年6月17日～19日 / 会場：東京ビッグサイト）にて開催する特別企画エリア「∞ mugen（ムゲン）」において、NTTコンキューデバイス、Even Realities、PICOの3社が新たに参画することが決定しました。

「XR・メタバース総合展」は、XR（VR・AR・MR技術の総称）およびメタバースを活用したサービス・技術が一堂に集結する日本最大級の専門展です。第一弾と第二弾参画企業（HTC NIPPON、XREAL、Shiftall）に加えて、今回の第二弾参画企業により、キープレイヤーの顔ぶれが揃い、会期に合わせたラインナップが完成形へと近づいています。

■ XR市場は「真鍮フェーズ」へ——— 軽量化・AI連携・デジタルサインが普及を後押し

この数年、XRは用途別の最適化が進んでいます。スマートグラスは軽量化とAI連携の進展により、通知・翻訳・作業支援など日常から業務の両方に対応するデバイスとして、HMD（ヘッドマウントディスプレイ）は、高精細表示や広視野、簡単なセットアップを武器に、製造・建設・医療現場でのシミュレーション・遠隔支援・トレーニングにおいてデジタルサイン・遠隔支援など多岐にわたって活用が進んでいます。

世界のXRデバイスメーカーが集う特別企画「∞ mugen」にキヤノン、シーメンスが参加決定、全8社が一室に集結

【第6回 XR・メタバース総合展 第1回】 会期：2026年6月17日～19日 / 会場：東京ビッグサイト
RX Japan合同会社 2026年3月14日 14時00分



2026年6月17日（水）～19日（金） 東京ビッグサイト
主催：RX Japan合同会社

RX Japan合同会社（本社：東京都中央区、代表執行役員社長：田中 佑志）が主催する「XR・メタバース総合展」（会期：2026年6月17日～19日 / 会場：東京ビッグサイト）にて開催する特別企画エリア「∞ mugen（ムゲン）」において、キヤノン、シーメンスの2社が新たに参画することが決定しました。

「XR・メタバース総合展」は、XR（VR・AR・MR技術の総称）およびメタバースを活用したサービス・技術が一堂に集結する日本最大級の専門展です。第一弾と第二弾参画企業（HTC NIPPON、XREAL、Shiftall、NTTコンキューデバイス、Even Realities、PICO）に加えて、今回の第三弾参画企業により、キープレイヤー全8社が集まりました。

■ 進化するXRデバイスが切り拓く「無限の可能性」が一堂に集結

現在、XRやメタバース技術は、エンターテインメントの枠を超え、日本のライフスタイルから産業・ビジネスの現場にいたるまで、本格的な社会実装のフェーズを迎えています。デジタルサインやリモートワークの発展的向上といったビジネスの課題解決（B2B）はもちろん、空間コンピューティングによる新たなエンタメ体験やクリエイティブの表現手段など、XRがもたらす価値は多岐にわたって広がっています。こうした現場の中、特別企画「∞ mugen」は、業界をリードする企業の最先端製品が一堂に集結し、実証とバリエーションの融合する「無限の可能性」を具体的に提示します。

エンタメ領域から研修DX・現場支援・顧客体験などビジネス実装へ「第6回 XR・メタバース総合展 第1回」2026年6月17日（水）から開催

生成AI×XR、VR教育・訓練、ARグラス、デジタルサインなど、最先端の製品が一堂に集結
RX Japan合同会社 2026年3月14日 14時00分



2026年6月17日（水）～19日（金） 東京ビッグサイト
主催：RX Japan合同会社

RX Japan合同会社（本社：東京都中央区、代表執行役員社長：田中 佑志）は、2026年6月17日（水）～19日（金）の3日間、東京ビッグサイトにて、「第6回 XR・メタバース総合展 第1回」を開催します。

近年、XR（VR・AR・MR）技術はエンターテインメント領域に加え、製造・建設・教育・小売など幅広い産業の現場に浸透しています。XRデバイスの進化に加え、生成AIやデジタルサイン、空間コンピューティングとの連携が進むことで、3Dデータを活用した遠隔設計・会議、生成AIによる教育・研修、製造現場の効率化、異物検出や安全確認に活用できる顧客体験（CX）など、あらゆるビジネスシーンで活用が拡大しています。さらに、本展では2026年1月に「没入型技術の活用促進」に向けたメタデスパー・ワークショップ（主催：XR）を開催し、XRの活用不足や現場実用性に関する課題、社会課題の解決に向けた没入型技術の活用促進やヘルスケア分野の活用を進めています。こうした動きから、XRは社会課題の解決に貢献する基盤技術として、その重要性を一段と高めています。

こうした背景のもと、本展では生成AIを活用したXR体験やメタバースによるコミュニケーション、VR防犯訓練、空間コンピューティング対応のARグラス、デジタルサインなど、XRの最新技術が一堂に集結します。また、今回は国内外のXRデバイスメーカーが集まる「体験・情報発信エリア（∞ mugen）」を初開催。従来のエンタメ用途から一歩進み、ビジネス現場や日常に寄り添うツールとして、実証・普及の入り口となるXRのリアルな活用を体験できる展示も、1日間にわたって大規模に開催します。

4. 来場者動員活動

◆ 掲載・放送メディア （一部抜粋、順不同）

■ TV

6/18（木）TOKYO MX「堀潤 Live Junction」

■ 新聞・雑誌

5/10（日）Sign&Displays

6/1（月）映像新聞社

6/18（木）日本経済新聞社（東京/札幌/名古屋/大阪/福岡）

■ Web

デジタルガジェット

プラメポータル

Yahoo! ニュース

TOKYO MX

グノシー

GIZMODO

antenna

au Webポータル

SmartNews

dメニューニュース …など

◆ ∞mugen メディアタイム

会期初日6/18（水）開場前（9:00～10:00）に
対象メディア及びインフルエンサー限定で、
混雑前の落ち着いた環境で取材ができる
「メディアタイム」を実施しました。

■ 参加メディア・インフルエンサー

ギズモード・ジャパン

アリマックス

クラフトデイズ

MATTU SQUARE

おきゅたんbot …など



5. 来場者向けサービス

5-1. サービスカウンター

◆ 出展製品・サービス案内カウンター

来場者が求める製品・サービス・出展社とのマッチングを促進するため、ご案内カウンターを会場各所に設置しました。来場者のニーズをヒアリングしながら最適な出展ブースをご案内し、来場者の回遊性向上と出展社との交流促進につなげました。



◆ NOPE（ノープ）ドリンクカウンター

メーカー界隈で注目される『NOPE』のドリンクカウンターを設置。来場者の知的好奇心を刺激するコンテンツとして、多くの方がカウンターに訪れました。



5. 来場者向けサービス

5-2. 展示会ナビ

あなたの課題に、答えがある。まずは展示会ナビをチェック！ RX

会場レイアウト図

1F

- BRANDING+
- コミュニケーションデザイン EXPO
- 映像クリエイティブマーケティング EXPO
- ファンコミュニティマーケティング EXPO
- Community park

2F

- 映像-CG 制作展
- GLOBAL CONTENT POP-UP
- コンテンツ
- VR/AR
- XR・メタバース総合展

3F

- クリエイター EXPO
- イマーシブテクノロジー EXPO
- VR/AR
- XR・メタバース総合展

4F

- クリエイター EXPO
- イマーシブテクノロジー EXPO
- VR/AR
- XR・メタバース総合展

展示会ナビ

課題例	商品・サービスの魅力を多く伝えたい	キャンペーン・販促企画がマンネリしている	制作・企画・制作を内製化・効率化したい	販路が伸び悩んでいる	リピーター・ファンが来ない	顧客の声を商品・企画に活かしたい	集客数を高めたい	新規顧客を獲得したい	IP・キャラクターを商品・企画に活かしたい
広告クリエイティブ・マーケティング EXPO	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コミュニケーションデザイン EXPO	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クリエイター EXPO	○	○	○	○	○	○	○	○	○
映像-CG制作展	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ファンコミュニティマーケティング EXPO	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ライセンス・ジャパン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イマーシブテクノロジー EXPO	○	○	○	○	○	○	○	○	○
CONTENT Hub	○	○	○	○	○	○	○	○	○
XR・メタバース総合展	○	○	○	○	○	○	○	○	○

お目当ての会社の探し方

無料のスマホアプリをダウンロード

記号の見方

- 特におすすめ
- おすすめ

もっと聞きたい！そんな方は マッチングカウンター へお越しください

- 自分向けのオススメ企業を教えてください
- 海外出展社と話をしたい
- 会場案内図に印をつけてほしい
- 課題をクリアにするところから相談したい など

XR・メタバース総合展およびコンテンツ東京では、セミナーや企画を実施。会場で配布される「会場案内図」で網羅的に掲載。また、来場者が「出会いたい」企業・製品・サービス・IPなどと出会えるよう「展示会ナビ」の配布や看板設置を行いました。

「展示会ナビ」を見る来場者



6. 出展社について

6-1. 出展企業一覧

(株) ITP
(株) アオミネクスト
(株) アルファシステムズ
Even Realities
HTC NIPPON (株)
XREAL (株)
(株) エスユーエス
(株) NTTコノキューデバイス
(株) キャドセンター
キヤノン (株)
キヤノンITソリューションズ (株)
(株) クレッセント
(株) KDStudio
シーメンス (株)
(株) Shiftall
ZENX (株)
(株) ソリッドレイ研究所
Dynabook (株)
テックファーム (株)
ナレッジワークス (株)
(株) 日本XRセンター
日本写真印刷コミュニケーションズ (株)
(株) ビーライズ
Pico Technology Japan (株)
bestat (株)
(株) V

(株) Forgers
(株) フォーラムエイト
(株) プラネタ
プレイキュリオ
(株) Play Life Studio
(株) HELTEC
(株) ポケット・クエリーズ
(株) マンカインドゲームズ
(株) メタバーズ
(一社) Metaverse Japan
メインブロック
(株) WARK
ABH INC.
CBIST(Chungbuk Innovation
Institute of Science & Technology)
Chungnam Content Agency(KOREA)
contentsDA INC.
D2EMOTION
Daegu Digital Innovation Promotion
Agency(DIP)
DG Entertainment CO., LTD.
DICIA
Firv Labs CO., LTD.
GL Co., Ltd.
GWANGJU INFORMATION &
CONTENT AGENCY

Gyeonggi Content Agency
Helloworks CO., LTD.
INCULAB PLUS CO., LTD.
Joorungstudio INC.
KIWI DESIGN (HONGKONG)
LIMITED
LetinAR CO., LTD.
MAWOOL
COMMUNICATIONS
Nursing XR INC.
PAINTPAM
ProMa3D
REMOSHOT
SHAREBOX
SLZ CO., INC.
(株) Super Real
WITCHES INC.

6. 出展社について

6-2. 出展社の声(一部抜粋)

XR／メタバース導入を考えている方が来場してくれるので、ターゲットに合致しやすいため出展しています。

業界の専門家や潜在的なパートナーといった、ターゲット性の高い来場者と出会うことができました。ブースでのやり取りは期待を上回り、有意義なビジネス成果につながると確信しています。

※出展社アンケートより



7. 次回開催のご案内

「XR・メタバース総合展」は、2026年秋展より、企業のAX・DX推進や業務効率化を支援する国内最大級のテクノロジー展示会「NexTech Week」の構成展へと移行し、名称を「XR産業活用展」へと進化させて新たな一歩を踏み出すこととなりました。

現在、製造・建設・物流・インフラなどの産業分野において、設計・検証・訓練・技術伝承・遠隔支援などの「産業XR」の活用は不可欠なものとなっています。「NexTech Week」においても、ヒューマノイドロボットEXPOの立ち上げや、フィジカルAI EXPOの新設など、最先端領域の拡充が進んでおり、XR分野へのニーズが高まっています。

このような背景から、AIやロボティクスといった近接領域との相乗効果（シナジー）を最大化し、出展企業および来場者の皆様へより総合的で価値ある場を提供すべく、「NexTech Week」内での開催を決定いたしました。新しく生まれ変わる「XR産業活用展」についての詳細は、次のページにてご確認ください。



製造・物流分野などでの活用イメージ



NexTech Week 会場の様子

7. 次回開催のご案内

NexTech Week 2026【秋展】内

展示会名 第1回 XR産業活用展【秋】

会期 2026年11月11日（水）～13日（金）
10:00～17:00

会場 幕張メッセ

同時開催展

第7回 AI・人工知能 EXPO【秋】
第7回 ブロックチェーン EXPO【秋】
第7回 量子コンピューティング EXPO【秋】
第5回 AI 時代の人材・組織改革 EXPO【秋】
第1回 ヒューマノイドロボット EXPO【秋】
第1回 フィジカルAI EXPO【秋】

NexTech Week 2027【春展】内

展示会名 第1回 XR産業活用展【春】

会期 2027年4月21日（水）～23日（金）
10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト

同時開催展

第11回 AI・人工知能 EXPO【春】
第7回 量子コンピューティング EXPO【春】
第6回 AI時代の人材・組織改革 EXPO【春】
第2回 ヒューマノイドロボット EXPO【春】
第1回 フィジカルAI EXPO【春】

XR産業活用展につきまして、出展をご検討される方にお渡しできる追加情報がございます

✓ 出展支援サービス ✓ 出展スペース ✓ 出展料金 …など

出展をご検討される方はコチラ



お問合せ

XR産業活用展 事務局（主催者：RX Japan合同会社）

☎ 03-6739-4131

✉ nextechweek.jp@rxglobal.com

🌐 <https://www.nextech-week.jp>